令和6年度　学校評価

令和7年2月に、教育水準の向上を図り、本学院の目的及び社会的使命を達成するために、学則第3条に基づく、学校運営に関する評価を行いました。

学校評価の実施方法は、教職員が評価表に基づき評価し、教務会議で協議を行いました。

その結果を教育運営会議で協議し最終評価とします。

評価は、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」米に基づいて、9カテゴリー125項目で行いました。

基準を　３点：あてはまる、２点：ややあてはまる、１点：あてはまらない、の3段階としました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価の概要 | 項目数 | 評価の平均（四捨五入） |
| Ⅰ　教育理念・教育目的 | 養成所の教育理念･教育目的が、教職員と学生に理解され、卒業時の学生の様子に反映されているか。 | 11 | 2.8 |
| Ⅱ　教育目標 | 教育理念･教育目的と教育目標が一貫しているか。教職員と学生が目標を理解しているか。 | 7 | 3.0 |
| Ⅲ　教育課程経営 | 教育理念･教育目的の達成に向けて、教育目標が達成できる一貫した科目構成になっているか。 | 31 | 2.8 |
| Ⅳ　教授･学習･評価過程 | 教育理念･教育目的の達成に向けて、講義・実習の内容の精選が行われ計画的に実施･評価されているか。 | 17 | 2.8 |
| Ⅴ　経営･管理過程 | 将来構想を元に計画的に管理運営しているか。学生生活の支援体制が整っているか。 | 36 | 2.7 |
| Ⅵ　入学 | 教育理念に基づいた学生の確保のため、適正な選抜と、実施状況の分析をしているか。 | 2 | 3.0 |
| Ⅶ　卒業･就職･進学 | 卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているか。 | 8 | 3.0 |
| Ⅷ　地域社会/国際交流 | 地域社会のニーズをふまえた社会貢献ができているか。国際的視野をふまえた教育がされているか。 | 10 | 2.6 |
| Ⅸ　研究 | 教員の研究活動の実施状況。研究活動の支援体制が整っているか。 | 3 | 2.3 |
| 平均 | | | 2.8 |

結果は下記のとおりです。

2003年「厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針検討会」報告書

「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」C＜点検＞（評価内容）一覧

総合評価は平均2.8点であり、全体的にバランスが取れた評価結果となりました。

　岩手県立一関高等看護学院は、社会の変化に対応し、医療・看護に対する人々のニーズを満たし、質の高い看護を提供する責任があり、教育理念に「県民の医療不安を解消する」という責務を掲げています。

令和6年度卒業生の進路状況は、岩手県内就職が7割、４年制大学に2名編入学、保健師学校に1名進学が決まっております。

看護師国家試験の合格状況は、平成14年度から令和5年度まで連続100％合格で推移しています。

令和4年度から新カリキュラムが運用され3年間経過しました。更なる教育内容の充実に向け、評価しながら引き続き検討に取り組みます。

1人1人の学生を大切にしながら、きめ細やかな学習指導や進路指導等支援を継続して取り組みます。

（課題）

Ⅷ　地域社会/国際交流

地域のボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症などの感染リスクを考慮しながら参加できるボランティア活動には参加した。「国際交流」は機会があれば積極的に参加できるよう支援していく。

Ⅸ　研究

教員の研究活動を支援する体制と時間を確保する。